

# 教育委員会定例会議事日程

令和4年6月24日(金) 午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項  
子どもアドベンチャーカレッジ2022参加者募集について  
学校運営協議会の設置及び令和3年度活動報告について
- 3 審議案件  
教委第12号議案 横浜市学校規模適正化等検討委員会臨時委員の任命について  
教委第13号議案 横浜市学校保健審議会臨時委員の任命について
- 4 報告案件  
教委報第2号 令和4年度歳入歳出予算案(6月補正)に関する意見の申出に係る  
臨時代理報告について
- 5 その他

## 教育委員会定例会 一般報告

### 1 市会関係

- 5/27 財政ビジョン特別委員会（議案審査）
- 6/1 こども青少年・教育委員会（教育委員会関係）
- 6/6 財政ビジョン特別委員会（採決）
- 6/7 本会議（第4日）議案議決
- 6/21 本会議（臨時会）議案上程、質疑、付託、議案議決  
こども青少年・教育委員会（教育委員会関係）

### 2 市教委関係

#### （1）主な会議等

- 6/1 令和4年度第1回指定都市教育委員会協議会
- 6/2 令和4年度横浜開港記念式典

#### （2）報告事項

- 子どもアドベンチャーカレッジ2022参加者募集について
- 学校運営協議会の設置及び令和3年度活動報告について

### 3 その他

# 子どもアドベンチャーカレッジ 2022 参加者募集！

横浜市内の小学生に向けて「主体的・対話的で深い学びのきっかけづくり」及び「社会参加のきっかけづくり」の場と機会を提供するため、民間企業や団体、大学、公的機関などの協力を得て、夏休み体験学習プログラム「子どもアドベンチャーカレッジ2022」を実施します。

なお、本事業はキャリア教育の視点でこれまで実施していた「子どもアドベンチャー」をリニューアルして実施するものです。

## 1 開催概要

【実施期間】令和4年8月17日（水）、18日（木）

【実施場所】横浜市内各所

【対象】市内在住または在学の小学3～6年生

【プログラム数】39プログラム（別添ちらし参照）

【募集児童数】全プログラム合計 約1,000人

### <プログラム例>

消防士体験、火起こし体験、学芸員体験、薬剤師体験、  
取材&新聞紙作成、議事堂探検&議員体験、税金謎解きゲーム、  
スポーツチームお仕事体験、プログラミング体験 等



消防士体験（令和元年度の様子）

【参加方法】事前申込制《申込期限：令和4年7月20日（水）》

※申込多数の場合は抽選で決定します

【参加費】原則無料（一部プログラムでは、材料費等の実費負担あり）

※ プログラムによって、日時・場所・対象学年・定員・申込方法が異なります。

詳細は、下記URLを御覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/gakusyu/adv/>

子どもアドベンチャーカレッジ

検索

## 2 主なリニューアル内容について

- ・プログラムを実施する企業・団体等から参加児童に対して、体験活動に加えて、学びへの関心を高める講話（子どものときの学びや経験が、現在の仕事や活動にどのように活かされているか等）を行います。
- ・プログラムの締めくくりとして、体験を通じた参加児童の学びの気づきを共有する「振り返り会」の時間を設けます。
- ・プログラムには、市民活動の担い手として期待される若者の人材育成を目的に、横浜市が公募する大学生コーディネーターを「振り返り会」の進行役として配置します。

お問合せ先

教育委員会事務局生涯学習文化財課長 宮田 純一 Tel 045-671-3236



夏休み・お仕事体験プログラム

# 子ども アドベンチャー カレッジ 2022

参加者  
大募集!

開催日

8.17(水)・18(木)

会場

横浜市内各所

※詳細はウェブサイトをご覧ください

横浜市教育委員会と民間企業や団体、大学、公的機関などが連携して、多様な体験プログラムを実施します。

対象 市内在住または在学の小学3～6年生

申込期限 令和4年 7月20日(水)まで

詳細は **子どもアドベンチャーカレッジ**

検索



※一部プログラムでは、材料費や入場料等が必要な場合があります。  
※今後の新型コロナウイルス感染状況等により、内容変更や中止となる場合があります。

お問合せ

※プログラム内容については、各プログラムの実施団体にお問い合わせください。  
※プログラム以外のイベント全般については、横浜市教育委員会事務局生涯学習文化財課へ。

横浜市教育委員会事務局 生涯学習文化財課  
TEL: 671-3282 E-mail: ky-adventure@city.yokohama.jp





# プログラム一覧

会場(区)	プログラム	企業・団体等名称	会場(区)	プログラム	企業・団体等名称
1 青葉	しょうぼうたいいん 消防隊員になってみよう!	横浜市青葉消防署	21 中	けんせつこうじ 建設工事ってどんなお仕事?? けんせつ しごと 建設のお仕事にチャレンジ♪	一般社団法人 横浜建設業協会 横浜建設業青年会 共催
2 旭	あさひく みらいはっけんぎょうしつ 旭区子ども未来発見教室	旭区地域振興課	22 中	こどもアドベンチャーカレッジ2022 かね お金のおもさをかんじよう!~	株式会社神奈川銀行
3 泉	しょうぼうしたいけん わくわく消防士体験	横浜市泉消防署	23 中	じょうほう もり ぼうけん こころえ 「情報の森」冒険の心得を しゅざい しんぶん 取材し、新聞にしよう!	ニュースパーク (日本新聞博物館)
4 磯子	かがく 「科学」ってなんだ?	はまぎん 子ども宇宙科学館	24 中	しごと たいけん スポーツチームのお仕事を体験 してみよう!	横浜市市民局スポーツ振興課 横浜DeNAベイスターズ、横浜FC、 横浜F・マリノス、横浜ビー・コルセアーズ、 横浜エクセレンス、横浜キャノンイーグルス
5 磯子	ひ お たいけんぎょうしつ 火起こし体験教室	横浜市三殿台考古館	25 中	たいけん にちとし 体験!1日都市デザイナー	横浜市都市整備局 都市デザイン室
6 神奈川	しゅつぱんしゃ しごと もとどうだいやくきゅうぶ 【出版社のお仕事!】元東大野球部 かんかく けいさく 監督の浜田さんにインタビュー	ビジネスエグゼクティブ キャリアカンファレンス 株式会社	26 中	どうしむら しょうむすら たいけん 道志村と昭和村を体験だ!	横浜市政策局 広域行政課
7 神奈川	どうぶつあいき 動物愛護センターの しごと まな 仕事を学ぼう!	横浜市健康福祉局 動物愛護センター	27 中	なつやす こ ぼうえきぎょうしつ 夏休み子ども貿易教室	公益社団法人 横浜貿易協会
8 神奈川	なつやす こ かんきょうかがくきょうしつ 夏休み子ども環境科学教室	横浜市環境創造局 環境科学研究所	28 中	メイクスポーツ!スポーツを創る しごと お仕事ってなんだろう?	公益財団法人 横浜市スポーツ協会
9 金沢	あつ あんぜん も ごみが集められて安全に燃やされる しごと たいけん までのお仕事を体験しよう	横浜市資源循環局 金沢工場	29 中	ぼうさいはかせ めざせ!まちの防災博士!	横浜市都市整備局 防災まちづくり推進課
10 金沢	いりょうしゃたいけん シミュレータで医療者体験を してみよう	横浜市立大学 医学部看護学科	30 中	まな しごと もけいで学ぼう!けんちくの仕事	公益財団法人 横浜市建築保全公社
11 金沢	ふよう そざい こうさく 不用になった素材で工作しよう! アップサイクル体験!	武松商事株式会社	31 中	<よこしん> キッズ・マネースクール	横浜信用金庫
12 港北	せいぎょう たくはい 生協ってなに?パルシステムの「宅配」 しゃいかつどう しごと と「社会活動」のお仕事	生活協同組合パルシステム 神奈川 新横浜本部	32 西	かぞく たいけんてい 家族でワクワク体験DAY	SMBC日興証券 株式会社
13 港北	よ なか べんり 世の中を便利にするコンピュータ のお仕事学ぼう!	株式会社 タスクフォース	33 西	しごとたいけん コールセンターお仕事体験! じどうしゃ じこ もしも自動車事故がおきたら?	あいおいニッセイ同和 損害保険株式会社
14 栄	み さわ の くるま 見て、触って、乗って、車の エネルギーを体感しよう!	株式会社 タツノ (横浜工場)	34 西	に せかい かんが 「食べる」から世界を考えよう!	横浜市国際局 国際協力課
15 都筑	がくげいいん いっしょ はくぶかん 学芸員と一緒に博物館の うらわめ けんけん 裏側を探検しよう!	横浜市歴史博物館	35 西	プログラミングの基礎を実体験 してみよう!	株式会社ICON
16 戸塚	こ やくざいしたいけん 子ども薬剤師体験セミナー	横浜薬科大学	36 保土 ケ谷	よこはま まも 横浜のみどりを守る! いきものレンジャーになろう	横浜市環境創造局 環境活動支援センター
17 中	はなし なか ねこ か お話の中の猫を描こう! かんそうがたいけん ~感想画体験~	大佛次郎記念館	37 緑	かんご しごと 看護とリハビリのお仕事を たいけん 体験してみよう!	昭和大学保健医療学部
18 中	がくげいいん しごとたいけん 学芸員のお仕事体験を してみよう!	横浜人形の家	38 南	すいどうかん しゅうり 水道管を修理してみよう!!	横浜市水道局 人材開発課
19 中	ぎじどうたんけん ぎいん たいけん 議事堂探検!議員を体験!	横浜市議会局 政策調査課	39 南	スーパーでレジや はんばいしたいけん 販売員体験をしよう。	株式会社 イトヨーカ堂 横浜別所店
20 中	と ぜいざん し クイズを解いて税金を知ろう! ぜいざんをまも ~税金謎解きゲーム~	横浜市租税教育推進協議会	さいご ふ かえ かい かんどう き プログラムの最後の振り返り会でみんなの感想を聴かせてね!		

詳細は横浜市ウェブサイトをご覧ください。

子どもアドベンチャーカレッジ

検索



## 学校運営協議会の設置及び令和3年度活動報告について

学校運営協議会とは、地域、保護者と学校が目標を共有して、一定の権限と責任をもって学校運営に参画する仕組みです。また、学校運営協議会と地域学校協働本部が一体となって横浜の子どもたちを育てていくことを目指して、令和4年度末までに全校に設置する予定です。

令和3年度10月、令和4年度4月の学校運営協議会の設置状況と、令和3年度の実施報告を踏まえた今年度の取組を報告いたします。

### 1 学校運営協議会 新規設置校

令和3年10月1日付の新規設置 16校、11協議会 累計 293校、224協議会

学校運営協議会名	
1 末吉中ブロック (末吉中 末吉小 上末吉小 下末吉小)	7 城郷小学校
2 矢向小学校	8 山内小学校
3 岡野中ブロック (岡野中 平沼小 浅間台小)	9 川和小学校
4 北方小学校	10 品濃小学校
5 鶴ヶ峯中学校	11 東俣野特別支援学校
6 篠原中学校	

新規設置校内訳 小学校11校 中学校4校 特別支援学校1校

令和4年4月1日付の新規設置 69校(うち8校は、単独設置済→合同設置)、58協議会 累計 362校、271協議会

学校運営協議会名		※斜体下線は、単独設置済→合同設置の8校	
1 今井小学校	16 永田小学校	31 宮田中学校	45 鶴ヶ峯中・不動丸小 合同
2 岡村小学校	17 永田台小学校	32 南戸塚中学校	46 軽井沢中・宮谷小 合同
3 折本小学校	18 西富岡小学校	33 万騎が原中学校	47 <u>汐見台中</u> ・浜小 合同
4 公田小学校	19 八景小学校	34 東永谷中学校	48 早渕中・勝田小 合同
5 港北小学校	20 初音が丘小学校	35 大正中学校	49 上菅田中・ <u>上菅田笹の丘小</u> 合同
6 桜井小学校	21 東戸塚小学校	36 芹が谷中学校	50 <u>西柴中</u> ・西柴小 合同
7 山王台小学校	22 平戸台小学校	37 浦島丘中学校	51 本宿中・本宿小 合同
8 汐見台小学校	23 星川小学校	38 岩崎中学校	52 中川中ブロック ( <u>中川中</u> ・中川小・南山田小)
9 篠原小学校	24 みたけ台小学校	39 神奈川中学校	53 田奈中ブロック (田奈中・長津田小・長津田第二小・ <u>いぶき野小</u> )
10 篠原西小学校	25 緑小学校	40 緑園義務教育学校	54 左近山ブロック (左近山特支・左近山中・左近山小)
11 下郷小学校	26 南吉田小学校	41 二つ橋高等特別支援学校	55 宮田中ブロック(宮田中 <u>釜小</u> ・帷子小)
12 瀬戸ヶ谷小学校	27 師岡小学校	42 北綱島特別支援学校	56 錦台中ブロック(錦台中 <u>西寺尾小</u> ・西寺尾第二小)
13 茅ヶ崎小学校	28 山内中学校	43 浦舟特別支援学校	57 上郷中ブロック (上郷中・上郷小・庄戸小)
14 都筑小学校	29 もえぎ野中学校	44 戸塚高等学校定時制	58 洋光台第二中ブロック (洋光台第二中・洋光台第二小・洋光台第四小)
15 綱島東小学校	30 六浦中学校		

新規設置校内訳 小学校42校(うち単独→合同4校) 中学校21校(うち単独→合同4校) 義務教育学校1校 特別支援学校4校 高等学校1校

#### 【参考】 設置目標と実績 (累計校数)

	R元年度末	R2年度末	R3年度末	R4年4月	R4年度末
設置目標	295	375	458	458	507
実績	223	262	293	362	

裏面有り

## 2 各協議会からの成果の報告

「令和3年度学校運営協議会実施報告」より

成果	主な内容
連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域人材を新たに見つけることができた。</li> <li>・探究的な学習において、幅広い地域の人材から学校のニーズに応じた支援を得ることができた。</li> <li>・定期試験前の放課後自習室開放の運営及び学習支援を充実させることができた。</li> </ul>
学校の運営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営協議会でワークショップを行い、学校教育目標の実現に向けた意見を得ることができた。</li> <li>・分散登校時の助言やICTを活用した学習の効果など、大学や高校と比較した意見を得ることができた。</li> </ul>
児童生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観を通して、学校が教育課程全体で育成を目指している資質・能力についての周知ができた。</li> <li>・特別に配慮を要する子どもへの学習支援について助言を受け、指導が改善した。</li> </ul>
学校関係者評価の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校管理職や教職員とは違った視点から意見をいただくことができた。</li> <li>・各委員の専門性により、様々な角度からの評価を得ることができた。</li> <li>・学校が設定する数値目標に民間企業の視点を加え、評価の改善を進めることができた。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観以外にも教員の悩みや要望も聞きたいという委員の意向を踏まえ、協議会の持ち方そのものを見直し、次年度以降の取組方法を改善することができた。</li> <li>・学校運営協議会が、地域の各団体の意見や情報交換の場という機能を果たすようになった。</li> </ul>

## 3 各協議会の今後の取組予定

「令和3年度学校運営協議会実施報告」より

取組予定	主な内容
連携・協働の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの安全を守るための活動の充実</li> <li>・指定地区外就学についての協議</li> <li>・農業学習を担う地域の資源や人の発掘</li> </ul>
学校の運営改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい生活様式における学校生活でのICT機器の活用</li> <li>・学校運営協議会をきっかけとした教職員の働き方改革、教職員の人材育成</li> <li>・学校・地域コーディネーターが参画した教育活動のさらなる広がり</li> </ul>
児童生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが地域で活躍できる場の設定</li> <li>・学習を苦手とする生徒や長期欠席児童、生徒に対する学習支援</li> <li>・コロナ禍におけるキャリア教育の推進</li> </ul>
学校関係者評価の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者、地域、外部機関等との学校教育目標の共有。発信方法の協議</li> <li>・学校評価の精度を上げるためのアンケート項目と集計方法の改善</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周年行事に向けての組織作りと計画立案</li> <li>・校舎建替を見据えた学校運営の方向性の検討</li> <li>・特別支援教育の更なる充実。配慮の必要な児童が安心して学習できる場の設定</li> </ul>

## 4 教育委員会事務局の取組（「令和3年度学校運営協議会実施報告」を踏まえて）

学校運営協議会の設置校において、「連携・協働の推進」については約75%、「学校の運営改善」については約62%の学校で成果が見られたとの報告があった。

学校運営協議会の本来の目的である「学校運営の改善に資するもの」にしていくためには、制度の正しい理解や当事者意識をもった参画が重要である。そのために、対象者ごとの段階的・体系的な研修の実施や、教育委員会事務局職員（特に指導主事）向けの研修などにより、意識の向上に努めていく必要がある。引き続き、教育委員会事務局は次の2点に取り組む。

- (1) 設置校への取組 ～学校運営協議会のさらなる充実のために～
  - 例) ・学校運営協議会と地域学校協働本部が一体となったPDCAサイクルの確立  
(学校運営協議会のねらいや意義、振り返りの再確認)
  - ・委員の意識の更なる向上  
(学校運営協議会会長や協議会委員である学校・地域コーディネーター等への研修会  
ホームページの紹介、広報誌「架け橋」の発行)
  - ・関係機関との連携の推進  
(文部科学省やCSマイスター、NPO法人代表等の専門家との連携、研修会の充実)
- (2) 未設置校への取組 ～学校運営協議会の理解者を増やすために～
  - 例) ・学校運営協議会の意義の周知  
(研修会の充実、各種会議での説明、eラーニングの開催、広報誌「架け橋」の発行)
  - ・学校への働きかけ、相談体制の充実  
(電話相談、訪問相談、個別相談会)

教委報第2号

令和4年度歳入歳出予算案（6月補正）に関する意見の申出に係る臨時代理報告について

令和4年度6月補正予算のうち教育予算に関する意見の申出については、教育長に委任する事務等に関する規則第3条第2項の規定により、令和4年6月13日教育長において臨時代理を行ったため、同条第3項の規定により次のとおり報告する。

令和4年6月24日提出

教育長 鯉渕 信也



#### 提案理由

令和4年度6月補正予算のうち教育予算に関する意見の申出については、急施を要し、会議を開くいとまがなかったことから、教育長に委任する事務等に関する規則第3条第2項の規定により、令和4年6月13日教育長において臨時代理を行ったため、同条第3項の規定により次のとおり報告する。

教 総 第 474 号  
令和4年6月13日

横浜市長 山中 竹春 様

横浜市教育委員会

教育予算に関する意見

令和4年度歳入歳出予算案（6月補正）のうち、教育に関する事務に係る部分については、異議ありません。

財 財 政 第 274 号

令 和 4 年 6 月 10 日

横浜市教育委員会

横 浜 市 長

教育予算に関する意見について

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 29 条に基づき、令和 4 年度歳入歳出予算案（6 月補正）のうち、教育に関する事務に係る部分について、意見を求めます。

担当 財政局財政部財政課 山口、柿澤

電話 045-671-2212



令和4年度 6月補正予算の概要(教育部分の抜粋)

歳出

(千円)

款	項	目	補正前の額	補正額	計
15	教育費		268,258,021	528,202	268,786,223
	7	学校保健体育費	24,018,292	528,202	24,546,494
		4 学校給食物資購入費	11,482,643	528,202	12,010,845

市第 26号議案 令和4年度横浜市一般会計補正予算(第2号) (関係部分)

歳入歳出補正予算内訳

【増額補正】	1事業	528,202千円
合 計	1事業	528,202千円

1 原油価格・物価高騰を踏まえた経済支援の実施

合計: 528,202 千円

(1) 学校給食物資購入事業

528,202 千円

(単位:千円)

事業名	6月補正前 現計予算	補正額	補正額の内訳				6月補正後 現計予算
			国費	その他	市債	一般財源	
小学校等給食物資購入事業	9,858,375	453,485	-	-	-	453,485	10,311,860
中学校給食物資購入事業	1,624,268	74,717	-	-	-	74,717	1,698,985
学校給食物資購入事業 (合計)	11,482,643	528,202	-	-	-	528,202	12,010,845

物価高騰が進む中、給食の質を落とすことなく提供するため、当初想定していた給食物資購入費よりも上回る費用について、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、増額補正を行います。

◆実施概要

ア 小学校等給食物資購入事業

- ・対象事業者：公益財団法人よこはま学校食育財団等
- ・購入対象：市内小学校、特別支援学校、義務教育学校の給食で使用する給食物資

イ 中学校給食物資購入事業

- ・対象事業者：デリバリー型給食物資の購入を委託する事業者
- ・購入対象：市内中学校等及び給食室改修工事期間中の市内小学校において実施するデリバリー型給食で使用する給食物資